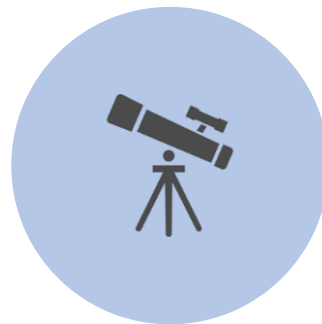




# データネット2022

## 志望動向／全体概況



## 多数のご参加、誠にありがとうございました

集計数 **409,910**人

※集計数＝データネットにご参加いただいた実人数

(集計率 **77.3%**)

※集計率＝データネット集計数÷共通テスト出願者数

全国から多数のご参加をいただきました。  
厚くお礼申し上げます。

## 3 志望動向サマリー <ダイジェスト>

### 文系・理系ともに平均点はダウン

5教科予想平均点は、5教科8科目文系で508点（対前年-44点）、5教科7科目理系で513点（対前年-59点）と、大幅にダウン。昨年度見られていた理高文低の傾向はみられていない。

### 共テ利用私立大の対前年指数は99と前年並

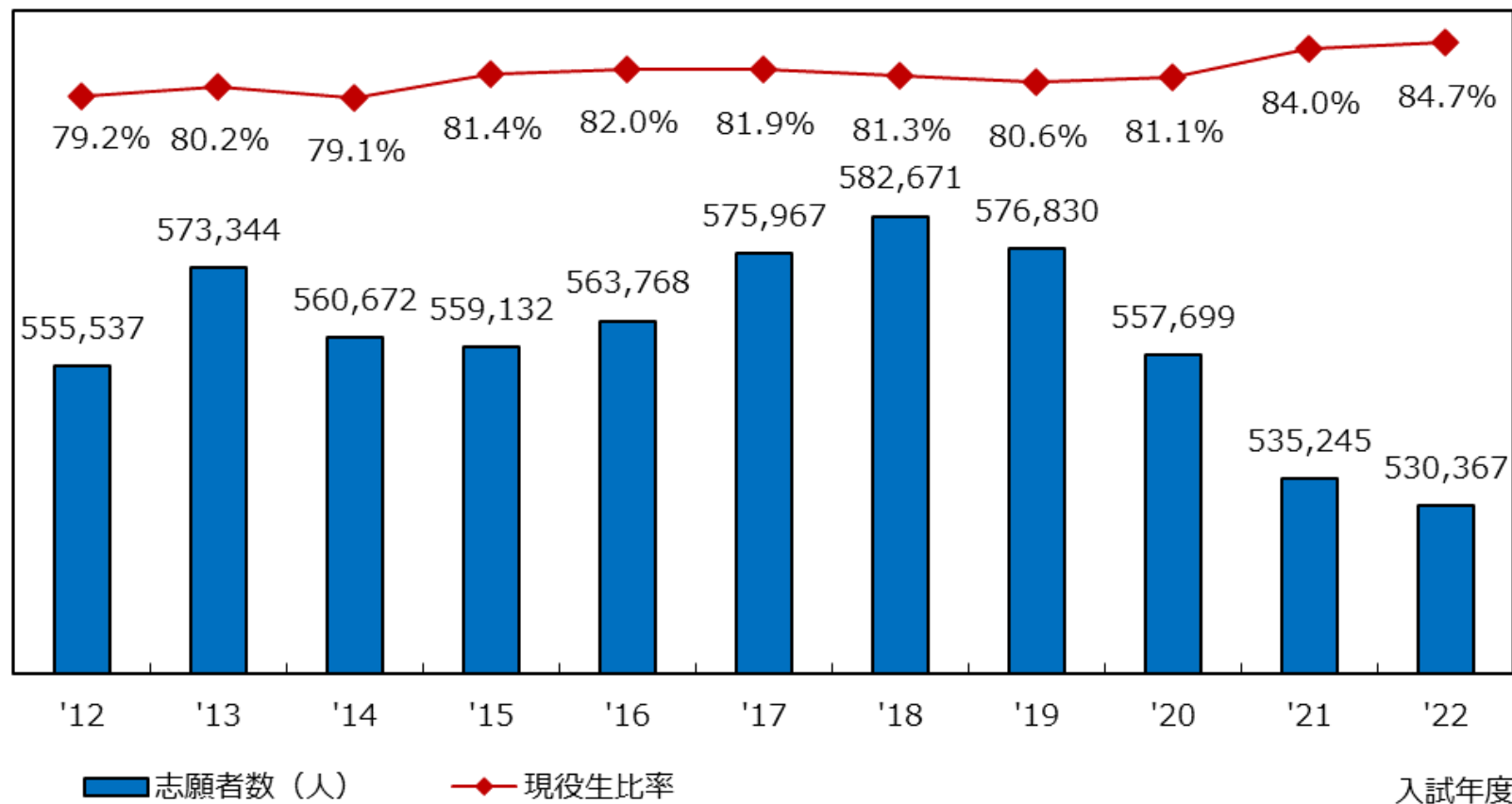
模試動向段階では、志望者数は増加傾向であったが、志望者数の対前年指数は99と前年並となった。3教科/数英理は平均点の下降により、出願への影響も考えられる。

### 難関国立10大の対前年指数は95とやや減少

大学全体でみると、東北大・名古屋大・九州大の志望者数の減少がめだつ。ブロック大の対前年指数は92と減少。

# 共通テスト 最終志願状況

## 共通テスト 最終志願状況



\* 2020年度まではセンター試験の値。2021年度は第一日程と第二日程の合算値

志願者数 **530,367**人 (対前年 **-4,878**人)

現役生比率 **84.7%**

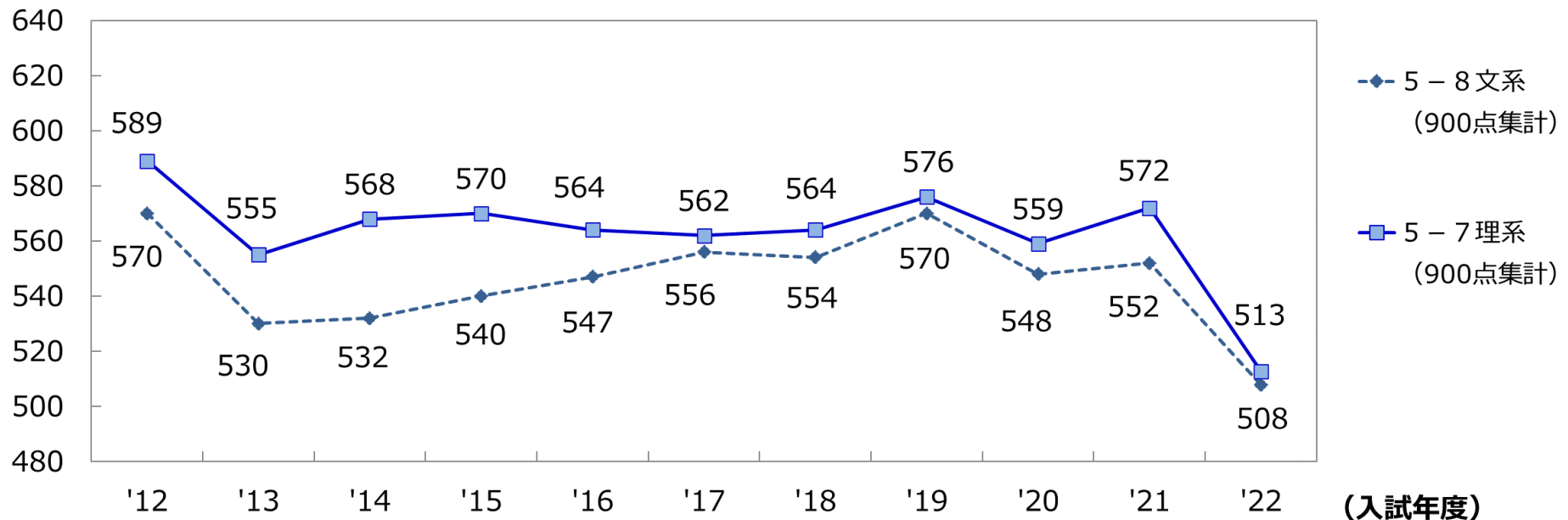
# 共通テスト 900点満点 予想平均点

## 共通テスト 900点満点 予想平均点

■ 5 - 8 文系	508点	(対前年 -44点)
■ 5 - 7 理系	513点	(対前年 -59点)

(点)

予想平均点推移

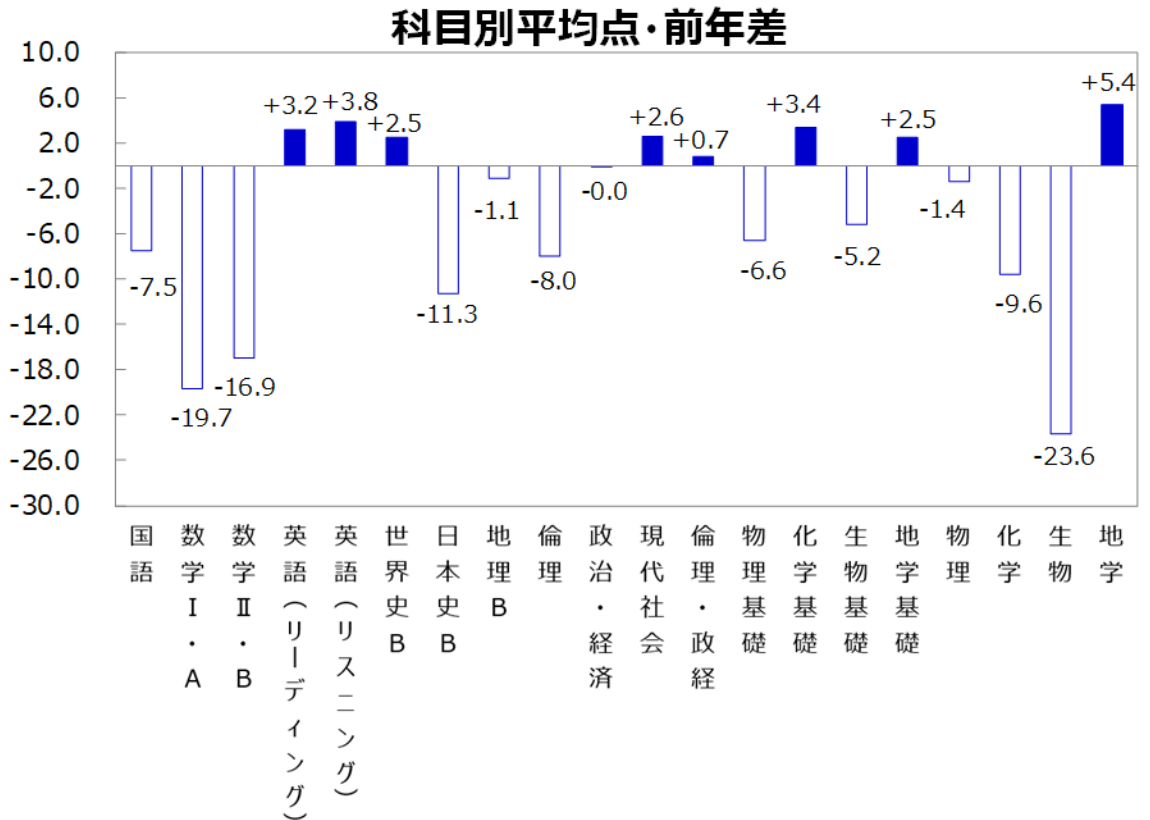


\* データネット最終集計値を基に、データネット実行委員会で推定した900点満点での平均点

\* 対前年は前年度の予想平均点（得点調整反映後）との比較

# 共通テスト 科目別予想平均点と前年差

		平均点	前年差	
国語	国語	110	-7.5	
	数学			
数学	数学Ⅰ・A	38	-19.7	
	数学Ⅱ・B	43	-16.9	
英語	リーディング	62	+3.2	
	リスニング	60	+3.8	
地歴・公民	世界史B	66	+2.5	
	日本史B	53	-11.3	
	地理B	59	-1.1	
	倫理	64	-8.0	
	政治・経済	57	-0.0	
	現代社会	61	+2.6	
	倫理・政経	70	+0.7	
	理科	物理基礎	31	-6.6
		化学基礎	28	+3.4
		生物基礎	24	-5.2
地学基礎		36	+2.5	
物理		61	-1.4	
化学		48	-9.6	
生物		49	-23.6	
地学	52	+5.4		

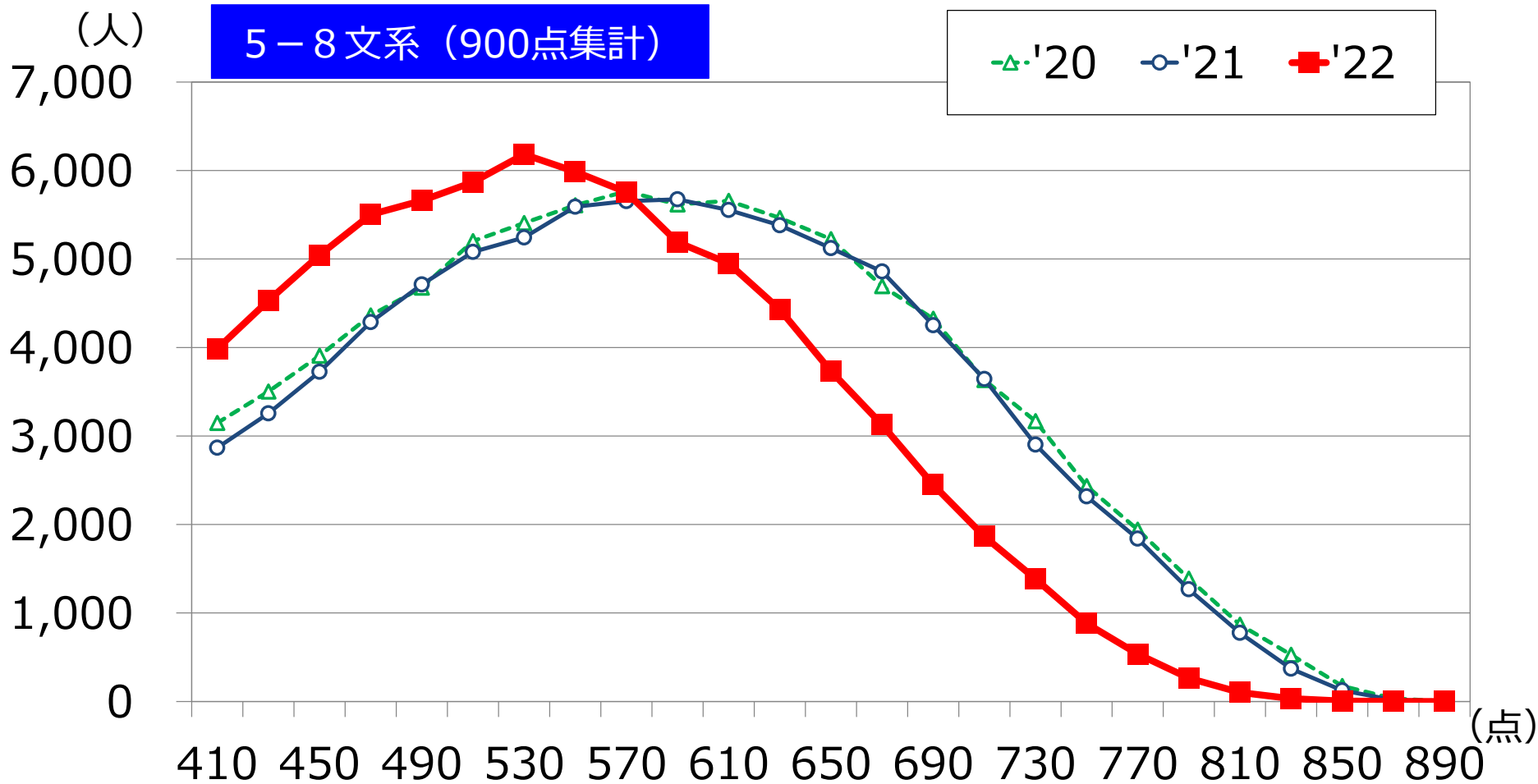


\* 平均点はデータネット実行委員会による予想値

\* 前年差は2022年度データネット予想値と2021年度最終発表値（得点調整反映後）との差

# 5 - 8 文系 度数分布 過年度対比グラフ

## 度数分布 過年度対比グラフ



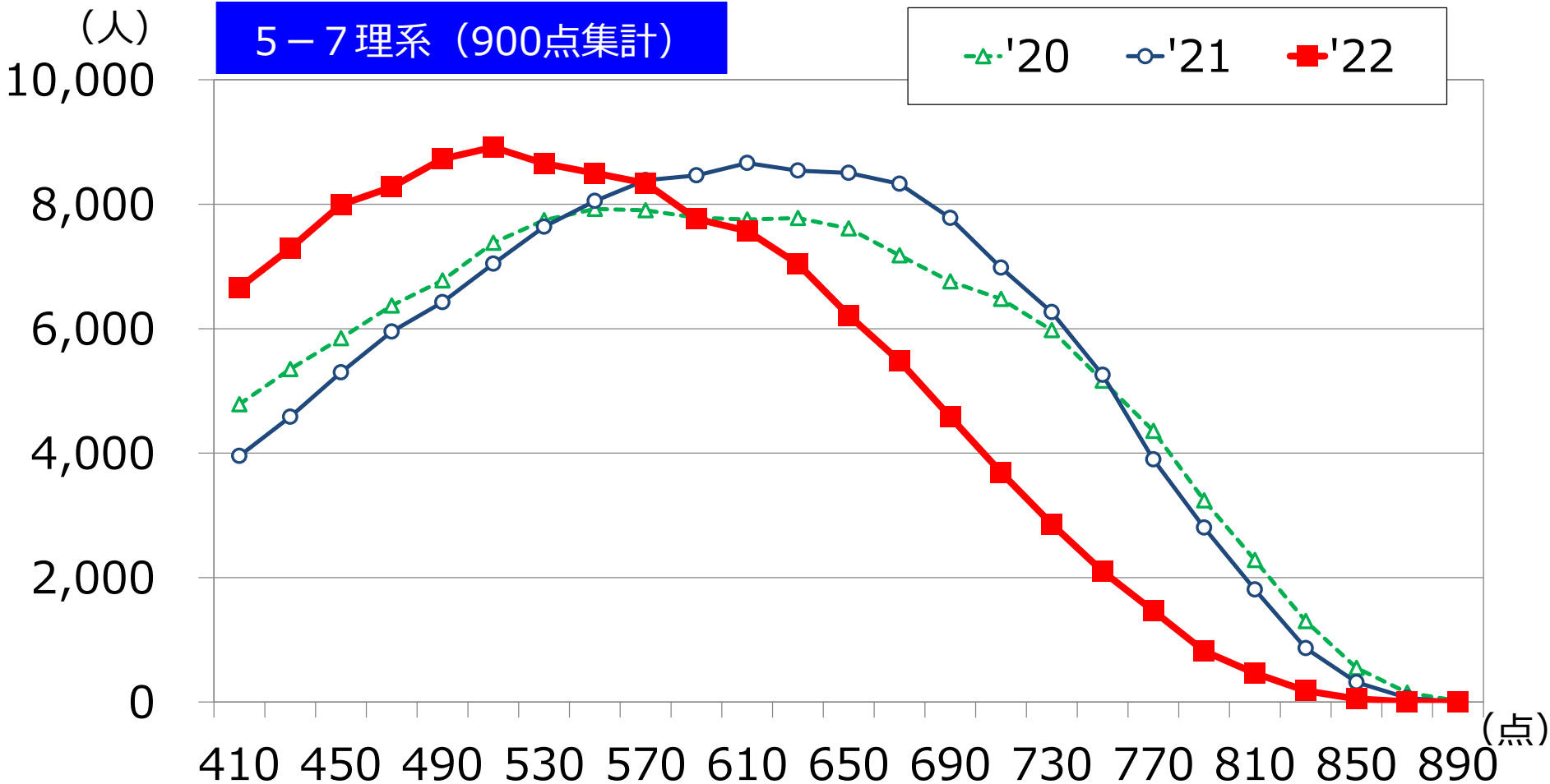
\* 2020年度の値はセンター試験のデータネット集計値  
 \* 2021年度の値は得点調整反映後のデータネット集計値

# 5-7理系 度数分布 過年度対比グラフ

## 度数分布 過年度対比グラフ

5-7理系 (900点集計)

△'20 ○'21 ■'22



\* 2020年度の値はセンター試験のデータネット集計値  
 \* 2021年度の値は得点調整反映後のデータネット集計値



# 得点帯ごとの累積人数比較

## 得点割合ごとの累積人数比較（5教科文系・理系、データネット900点集計）

人数（累積）	2022年度文系	2022年度理系	2021年度文系	2021年度理系	2022-2021文系	2022-2021理系
450点（5割）以上	66,716	106,215	76,795	124,965	-10,079	-18,750
540点（6割）以上	41,015	67,564	55,616	95,360	-14,601	-27,796
630点（7割）以上	16,800	31,758	30,487	57,610	-13,687	-25,852
720点（8割）以上	3,298	8,114	9,762	21,622	-6,464	-13,508

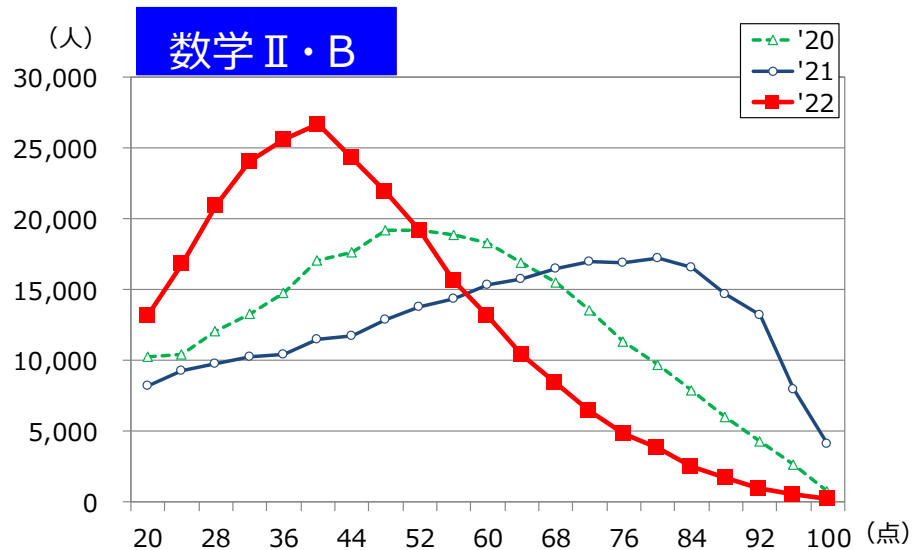
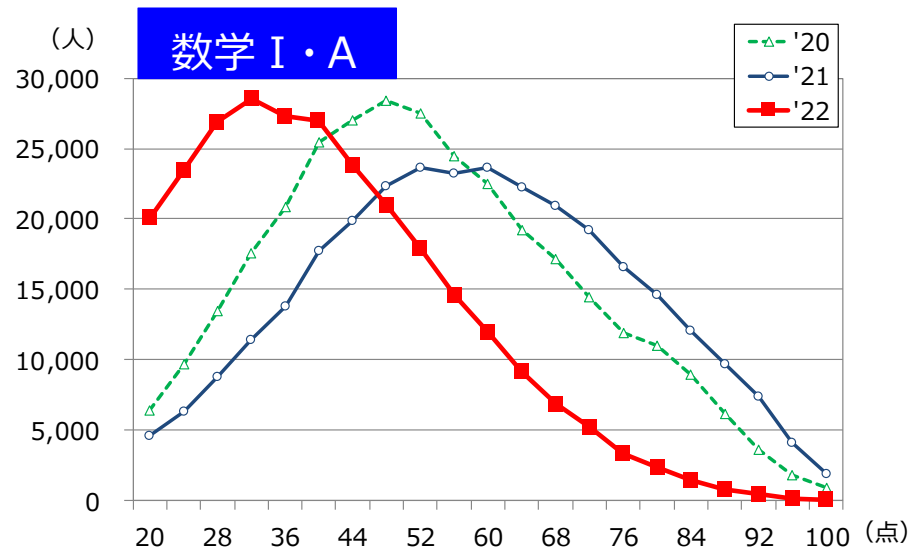
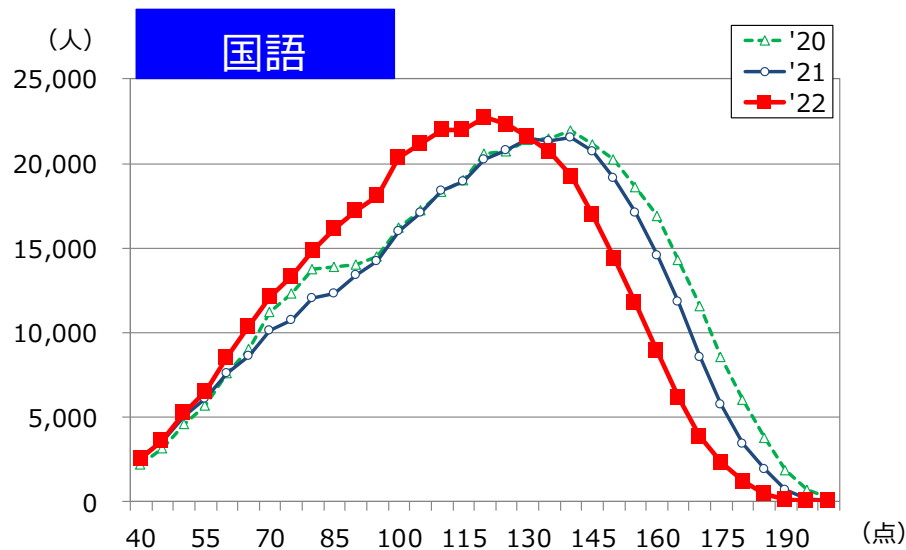
割合	2022年度文系	2022年度理系	2021年度文系	2021年度理系	2022-2021文系	2022-2021理系
450点（5割）以上	71.6%	71.3%	81.1%	84.0%	-9.4%	-12.6%
540点（6割）以上	44.0%	45.4%	58.7%	64.1%	-14.7%	-18.7%
630点（7割）以上	18.0%	21.3%	32.2%	38.7%	-14.1%	-17.4%
720点（8割）以上	3.5%	5.4%	10.3%	14.5%	-6.8%	-9.1%

## コース別得点換算表抜粋（5教科文系・理系、データネット900点集計）

2021年度得点	5 - 8 文系		5 - 7 理系	
	2022年度得点	前年差	2022年度得点	前年差
720点（8割）	665	-53	660	-59
630点（7割）	575	-53	565	-67
540点（6割）	495	-46	475	-64
450点（5割）	445	-5	420	-31

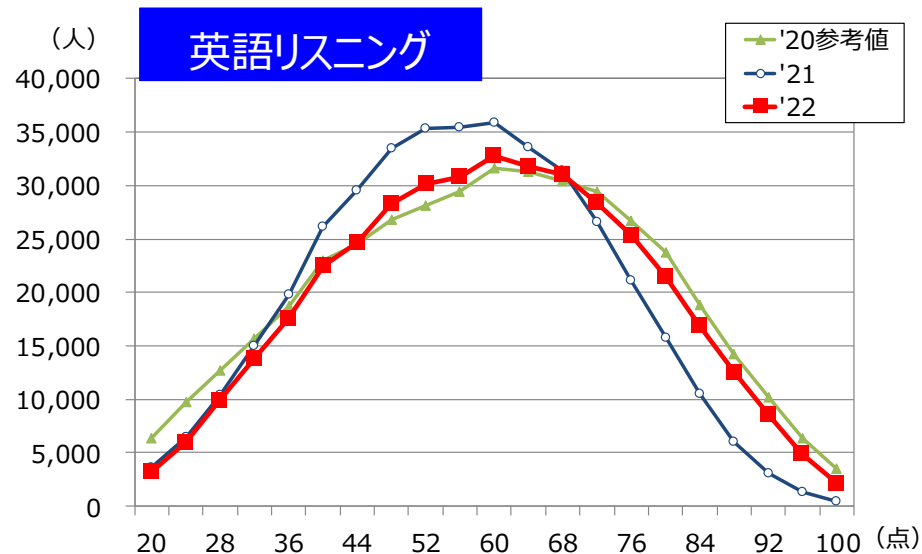
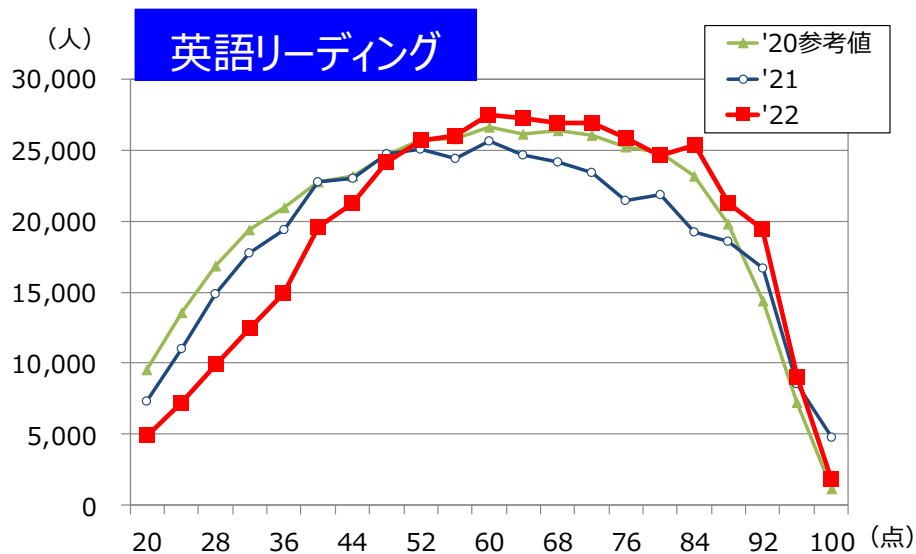
\* 2021年度の値は得点調整反映後のデータネット集計値

# 10 データネット科目別度数分布（国語、数学）



\* 2020年度の値はセンター試験のもの

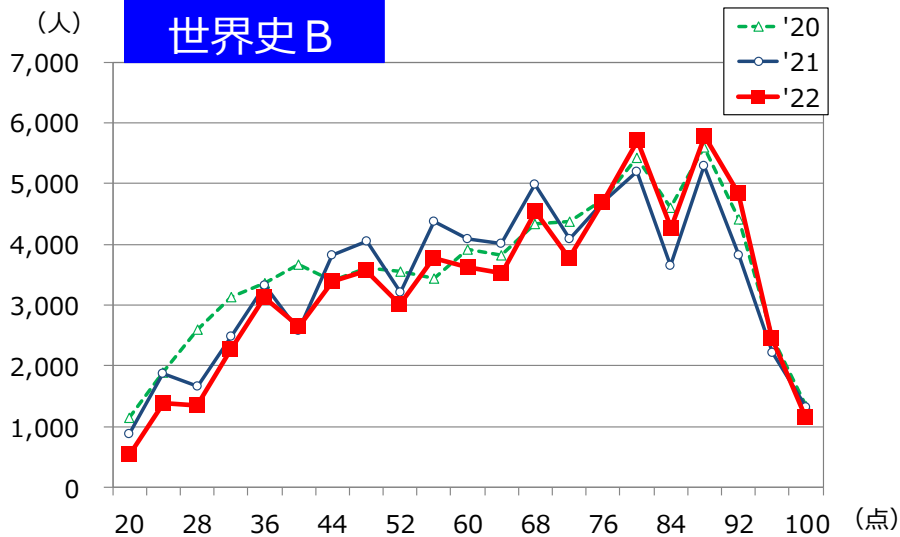
# データネット科目別度数分布（英語）



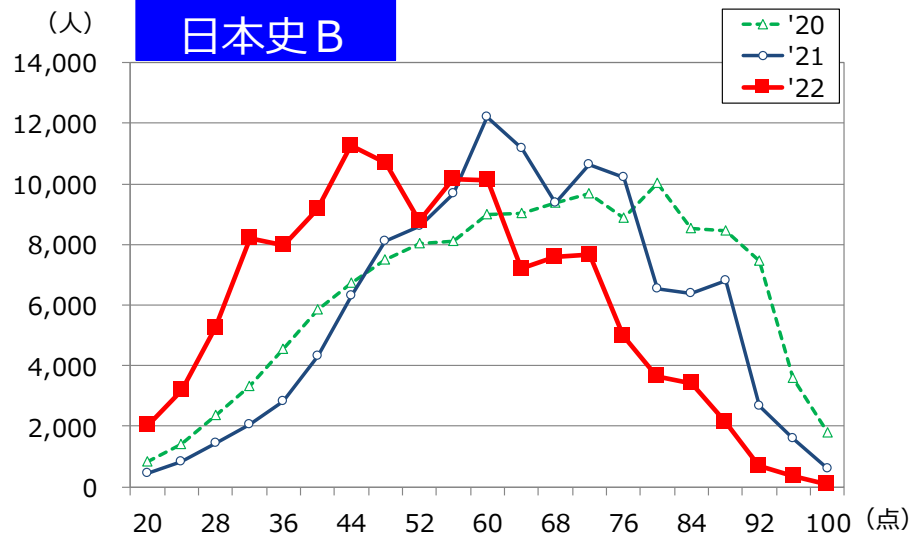
\* 2020年度の値はセンター試験の筆記200点満点を100点満点に、リスニング50点満点を100点満点にそれぞれ換算してグラフ上に表示

# 12 データネット科目別度数分布 (地理歴史)

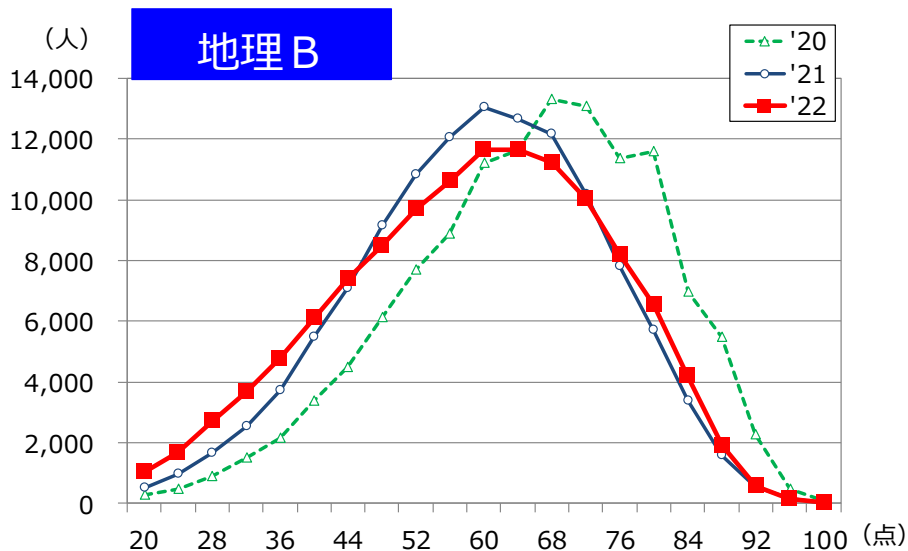
世界史B



日本史B

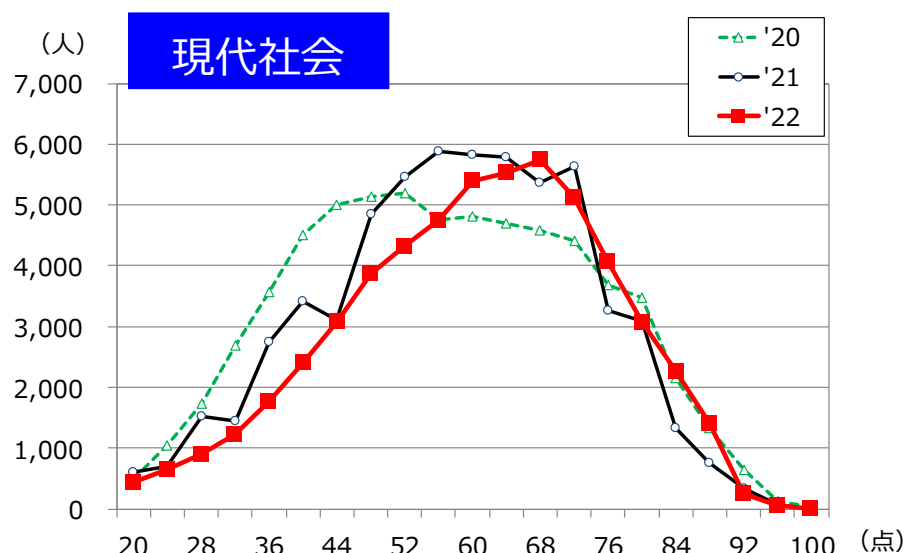
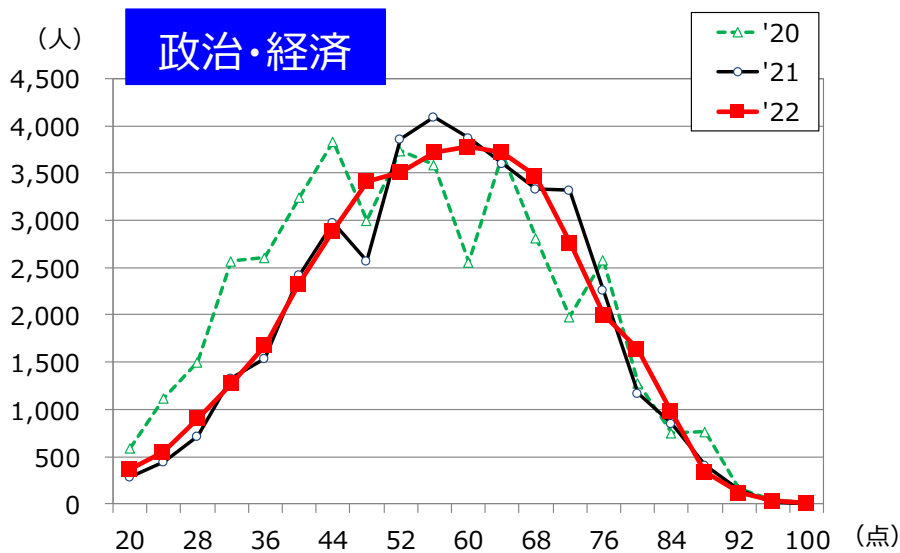
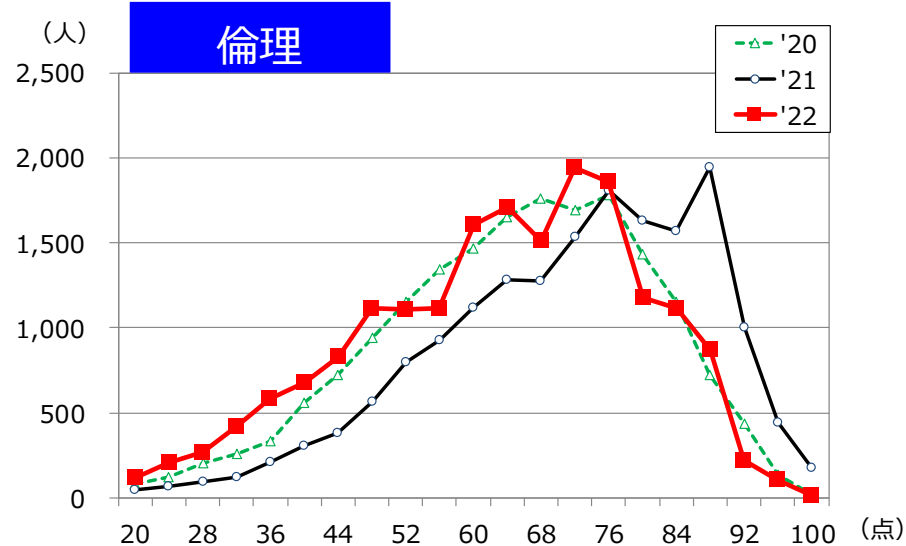
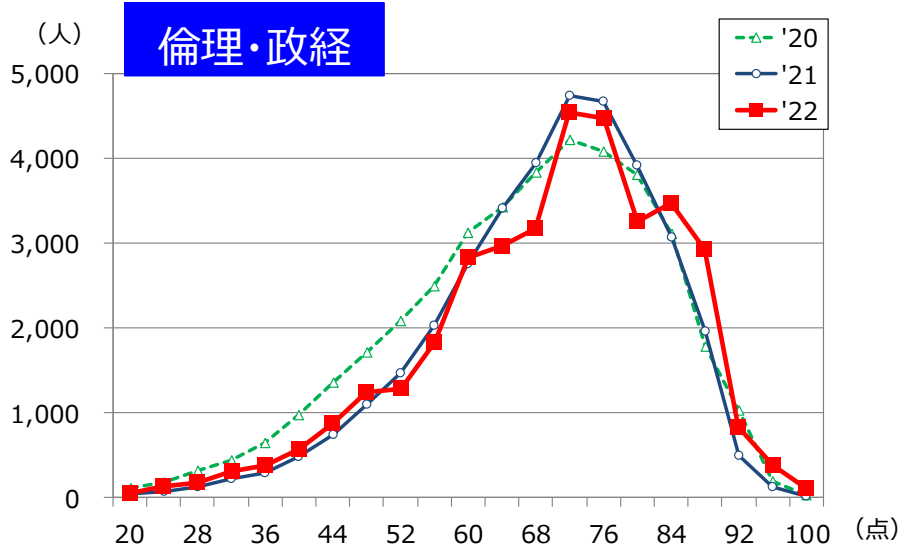


地理B



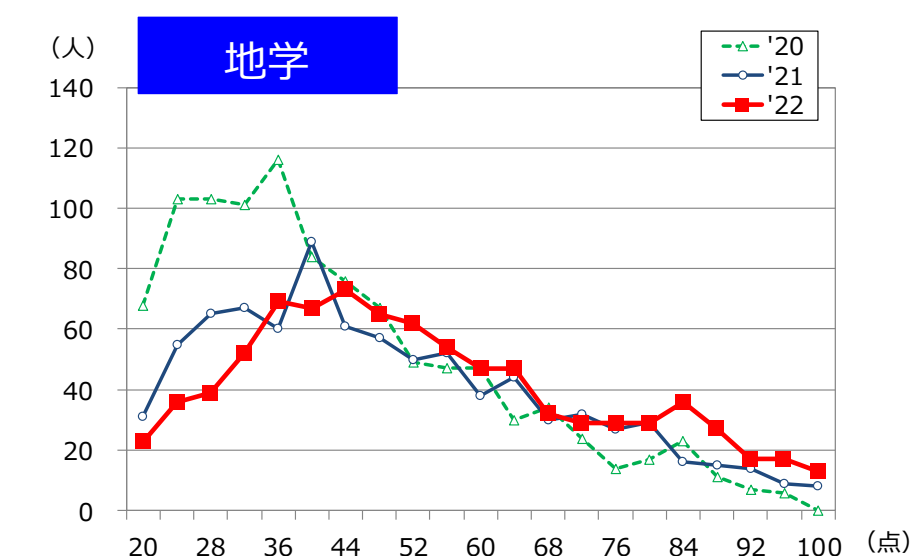
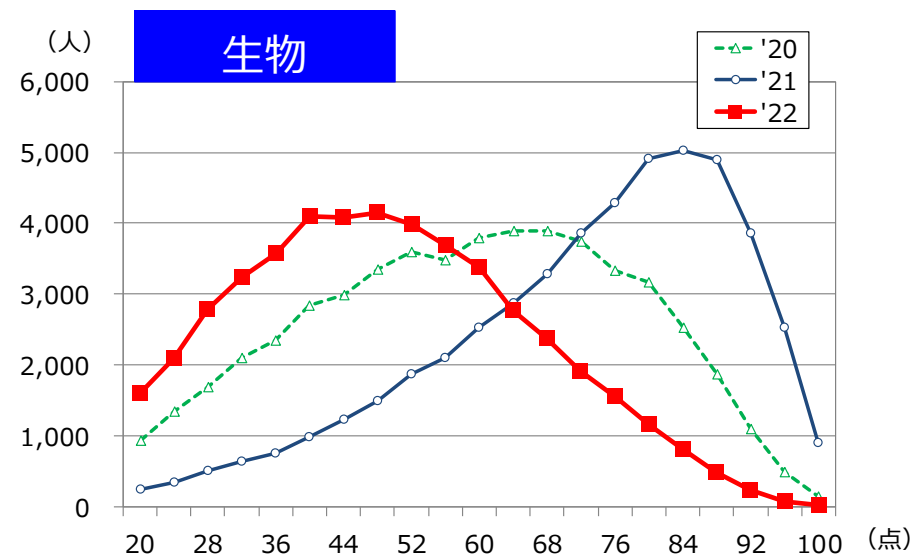
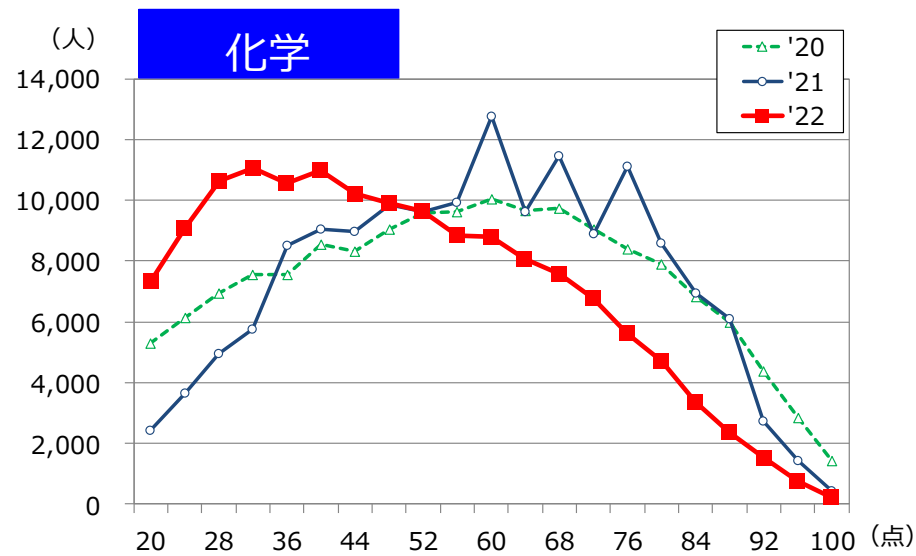
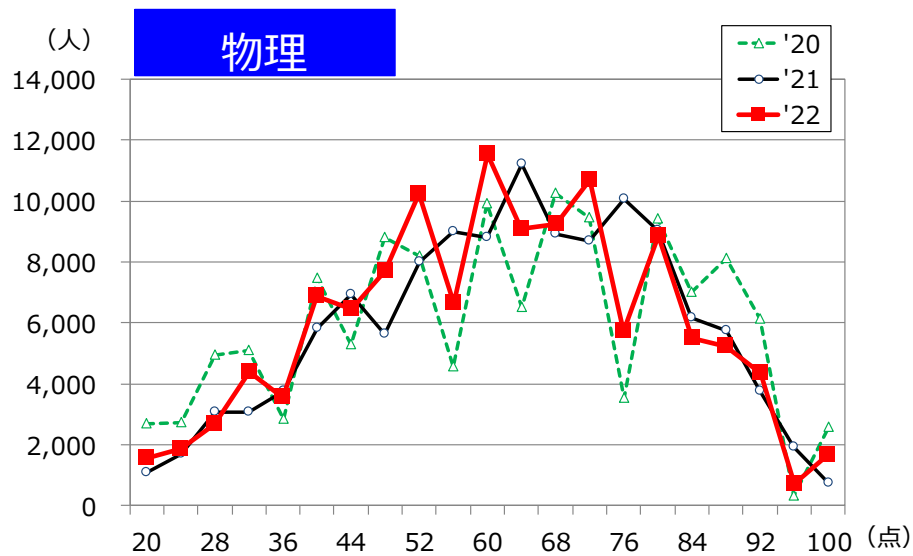
\* 2020年度の値はセンター試験のもの

# データネット科目別度数分布（公民）



\* 2020年度の値はセンター試験のもの  
 \* 2021年度の値は得点調整反映後のもの

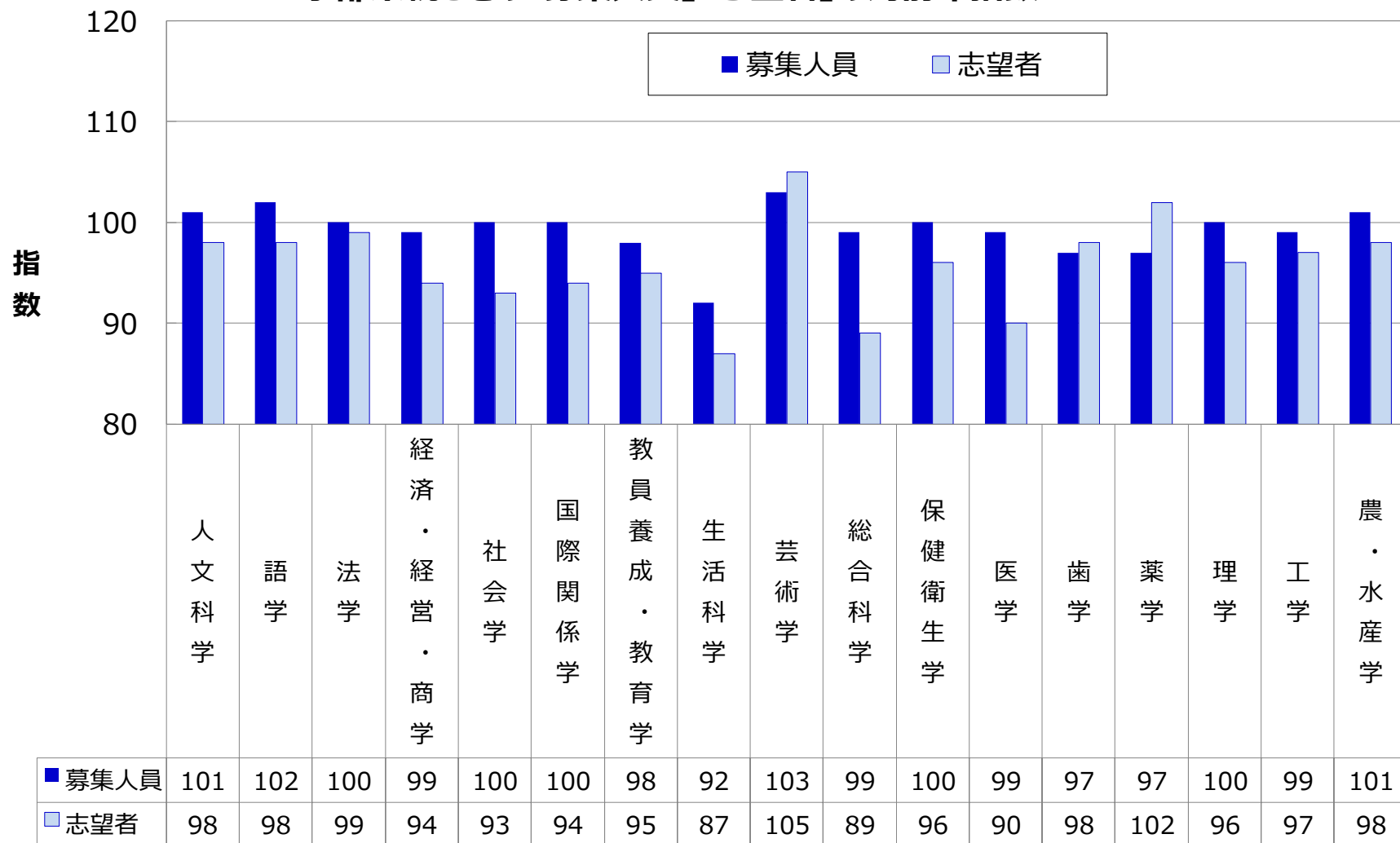
# 14 データネット科目別度数分布 (理科②)



\* 2020年度の値はセンター試験のもの  
 \* 2021年度の値は得点調整反映後のもの

# 国公立大 学部系統別志望動向

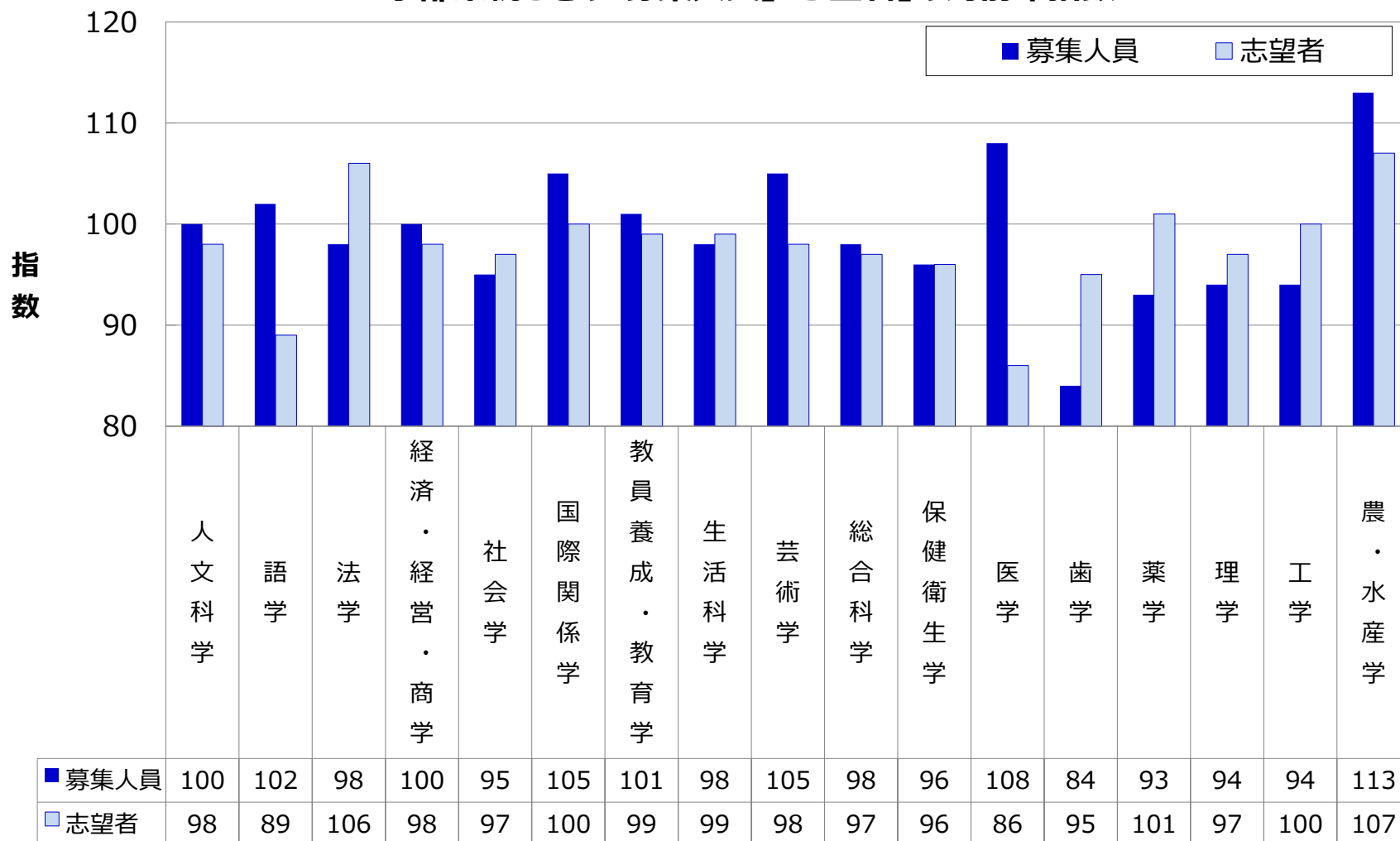
## 学部系統ごとの「募集人員」「志望者」の対前年指数



\*表中の数値は、前年の値を100としたときの今年度の指数

# 共通テスト利用私立大 学部系統別志望動向

## 学部系統ごとの「募集人員」「志望者」の対前年指数



\*表中の数値は、前年の値を100としたときの今年度の指数



## 志望動向サマリー <ダイジェスト>

### 文系・理系ともに平均点はダウン

5教科予想平均点は、5教科8科目文系で508点（対前年-44点）、5教科7科目理系で513点（対前年-59点）と、大幅にダウン。昨年度見られていた理高文低の傾向はみられていない。

### 共テ利用私立大の対前年指数は99と前年並

模試動向段階では、志望者数は増加傾向であったが、志望者数の対前年指数は99と前年並となった。3教科/数英理は平均点の下降により、出願への影響も考えられる。

### 難関国立10大の対前年指数は95とやや減少

大学全体でみると、東北大・名古屋大・九州大の志望者数の減少がめだつ。ブロック大の対前年指数は92と減少。

## データネット判定の特徴

### 1. 全国最大のデータ数

データネット2022 参加人数40万9910人（共通テスト出願者のうち約77.3%が参加）

2021年度入試結果協力人数48万8878人

全国最大の志望動向、入試結果データをもとに、判定値を吟味・設定しております。

### 2. 最新の地元情報の反映

全国9拠点（北海道、東北、関東、首都圏、中部・東海、北陸、近畿、中国・四国、九州・沖縄）の判定担当者を通じ、地元ならではの情報（地元での評判、序列の考え方）を判定値に反映しております。

### 3. 判定値提供後の動きも予測

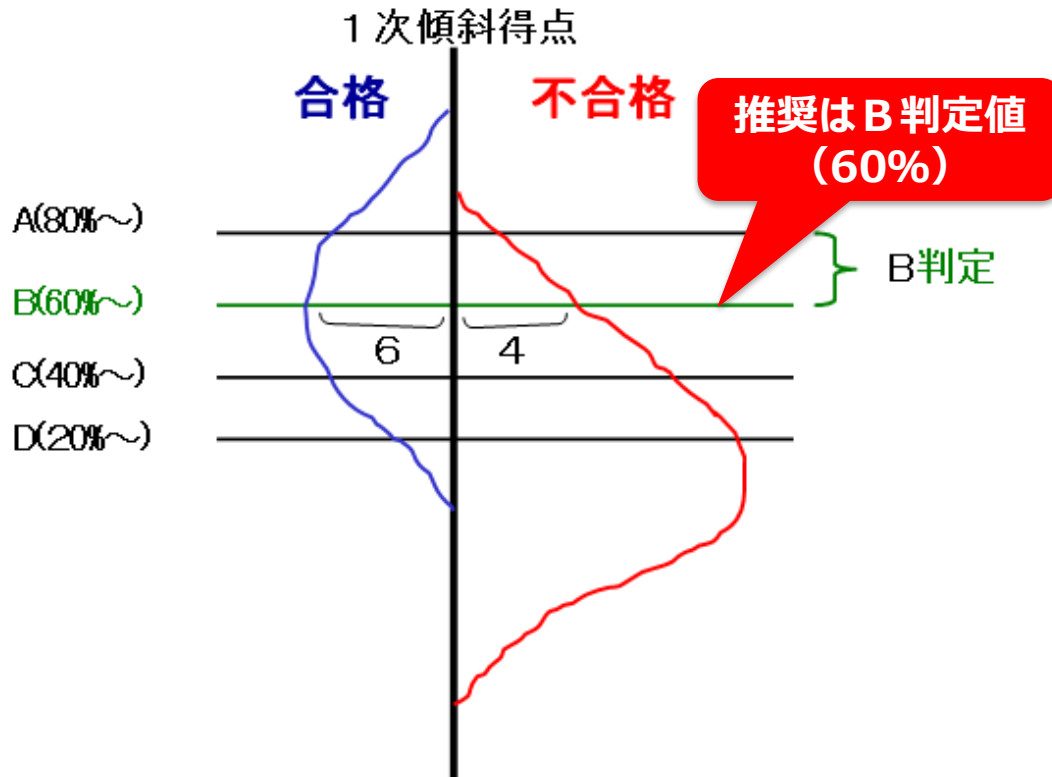
判定値の吟味においては、自己採点段階のデータに加え、実際の出願に至るまでの受験生の動きも踏まえ、判定値を設定しております。

入試結果も、単年度ではなく、複数年度の入試結果を吟味し、合否ラインを検証しております。

# データネットがご提供する判定値の意味について

## データネット

\*イメージ図



## 他社（参考）

- A判定 … 合格可能性 80%以上
- B判定 … 合格可能性 65%
- C判定 … 合格可能性 50%
- D判定 … 合格可能性 35%

C判定値が目安  
(50%)

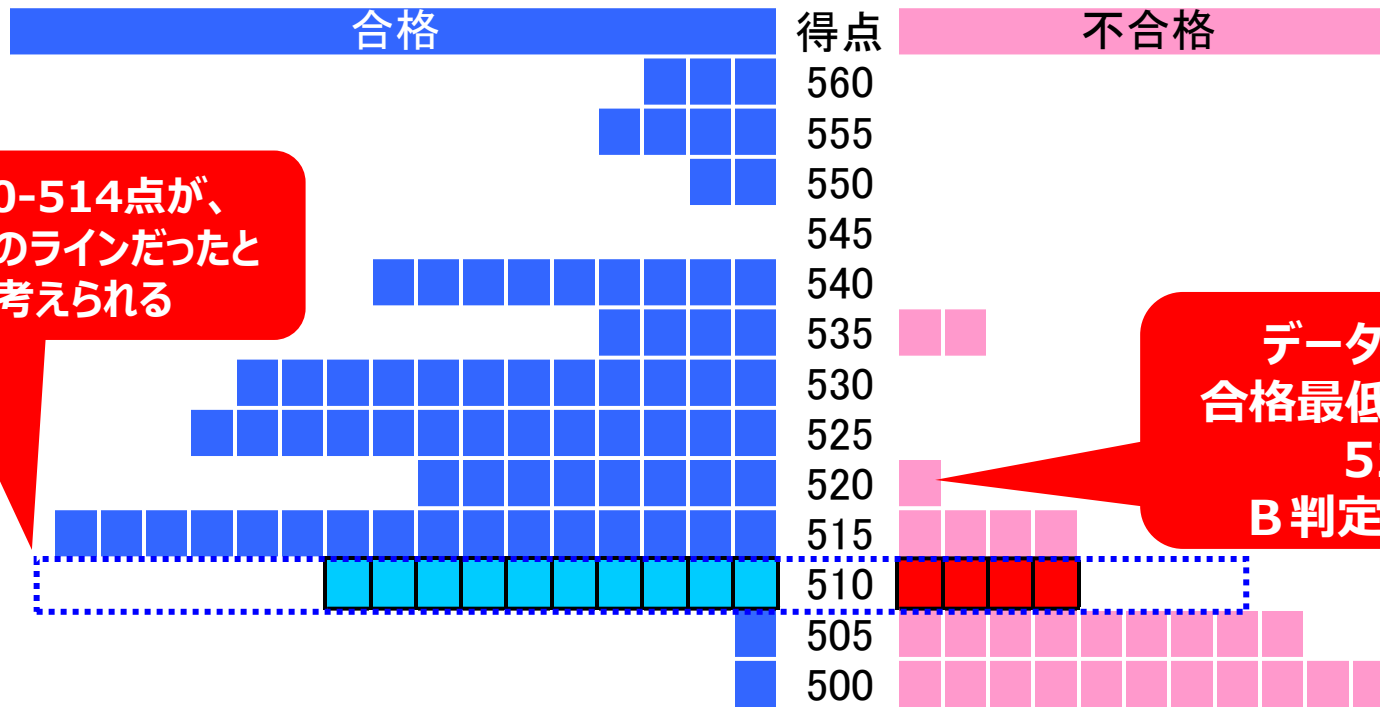
B判定の合格可能性は、60%以上80%未満

国公立大のB判定 = 2次試験に向け、現時点でアドバンテージを持っている状態

# 20 私立大共通テスト方式の判定の考え方

○×大・法（国際企業関係）＜共／単独＞ 600点満点

\*このデータは見本です



私立大の共通テスト方式は、共通テストの得点のみで合否が決まるため（\*1）、合格・不合格のラインがはっきりと分かります（\*2）。

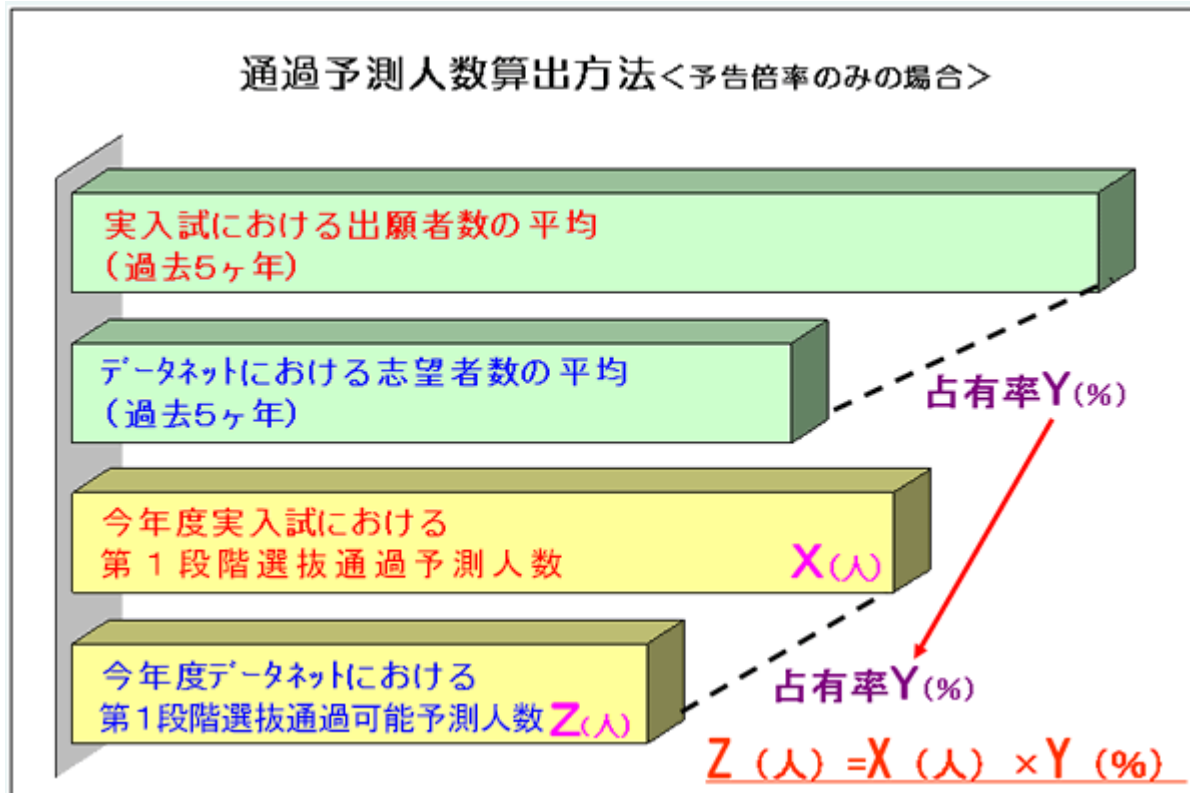
\*1 大学独自の個別試験併用方式の場合は異なります。

\*2 自己採点ミスなどにより、合否が混在している場合もあります。

原則的な考え方は、**合否の境目 = C判定値とB判定値の間**  
 私立大共通テスト方式の B判定 = ゆとりを持って出願ができる状態

## 2段階選抜の判定方法

### ■ 予告倍率のみの場合



- $Z(人)$  をデータネット志望者累積席次に当てはめ、席次から該当する得点を求める。
- 求められた得点がDライン (合格可能性20%) より低いかをチェックする。低ければ、求められた得点を一次通過ラインとする。

- ① 当該大の過去の第1段階選抜通過人数をもとに、今年度の志望動向を加味して、2022年度入試における第1段階選抜通過予測人数  $X$  を算出
- ② 過去5年間の実績から、当該大のデータネットにおける志望者数が、2022年度入試の志願者数に占める割合  $Y$  を予測
- ③  $X(人)$  に  $Y(\%)$  を乗じ、今年度データネットにおける第1段階選抜通過可能予測人数  $Z$  を算出
- ④  $Z(人)$  に該当する席次の得点が、D判定値 (合格可能性20%以上) よりも低いことを確認し、一次通過ラインを設定